

4. 事業データ（契約数）

契約数

		A		B			C	
		2015年3月期末実績		2016年3月期 第1四半期末 実績			2016年3月期末 予想	
				D 増減 B-A	年間増減数に 対する進捗率 D÷E		E 増減 C-A	
加入電話 <sup>(注1)</sup>	(千加入)	21,286	20,891	▲ 395	24.5%	19,676	▲ 1,610	
NTT東日本	(千加入)	10,492	10,324	▲ 168	20.0%	9,652	▲ 840	
NTT西日本	(千加入)	10,794	10,567	▲ 227	29.5%	10,024	▲ 770	
INSネット <sup>(注2)</sup>	(千回線)	3,058	2,975	▲ 82	28.4%	2,768	▲ 290	
NTT東日本	(千回線)	1,559	1,519	▲ 40	24.8%	1,399	▲ 160	
NTT西日本	(千回線)	1,499	1,456	▲ 43	32.8%	1,369	▲ 130	
加入電話+INSネット	(千回線)	24,344	23,866	▲ 477	25.1%	22,444	▲ 1,900	
NTT東日本	(千回線)	12,051	11,844	▲ 208	20.8%	11,051	▲ 1,000	
NTT西日本	(千回線)	12,293	12,023	▲ 270	30.0%	11,393	▲ 900	
公衆電話	(個)	183,655	181,711	▲ 1,944	27.8%	176,655	▲ 7,000	
NTT東日本	(個)	87,785	86,514	▲ 1,271	21.2%	81,785	▲ 6,000	
NTT西日本	(個)	95,870	95,197	▲ 673	67.3%	94,870	▲ 1,000	
フレッツ・ISDN	(千回線)	95	93	▲ 3	23.0%	84	▲ 11	
NTT東日本	(千回線)	42	41	▲ 1	18.3%	37	▲ 5	
NTT西日本	(千回線)	53	52	▲ 2	26.9%	47	▲ 6	
フレッツ・ADSL	(千回線)	1,219	1,162	▲ 58	26.5%	1,001	▲ 218	
NTT東日本	(千回線)	550	526	▲ 24	35.0%	480	▲ 70	
NTT西日本	(千回線)	669	636	▲ 33	22.5%	521	▲ 148	
フレッツ光(コラボ光含む) <sup>(注3)</sup>	(千回線)	18,716	18,951	235	39.2%	19,316	600	
NTT東日本	(千回線)	10,403	10,476	74	18.4%	10,803	400	
NTT西日本	(千回線)	8,313	8,475	162	80.8%	8,513	200	
(再)コラボ光	(千回線)	270	1,322	1,051	-	-	-	
NTT東日本	(千回線)	190	954	764	-	-	-	
NTT西日本	(千回線)	80	368	288	-	-	-	
ひかり電話 <sup>(注4)</sup>	(千チャンネル)	17,108	17,243	135	-	17,108	0	
NTT東日本	(千チャンネル)	9,032	9,056	24	12.0%	9,232	200	
NTT西日本	(千チャンネル)	8,076	8,187	111	-	7,876	▲ 200	
一般専用サービス	(千回線)	241	239	▲ 2	29.8%	234	▲ 7	
NTT東日本	(千回線)	117	116	▲ 1	22.4%	113	▲ 4	
NTT西日本	(千回線)	124	123	▲ 1	41.4%	121	▲ 3	
高速デジタル伝送サービス	(千回線)	127	121	▲ 7	36.0%	109	▲ 18	
NTT東日本	(千回線)	66	62	▲ 3	45.8%	59	▲ 7	
NTT西日本	(千回線)	62	58	▲ 3	29.9%	50	▲ 11	
グループ主要ISP <sup>(注5)</sup>	(千契約)	11,586	11,650	65	-	11,195	▲ 391	
(再)OCN	(千契約)	8,282	8,342	60	-	7,878	▲ 404	
(再)ぶらら	(千契約)	2,960	2,968	7	-	2,960	0	
ひかりTV	(千契約)	3,014	3,038	24	17.9%	3,150	136	
フレッツ・テレビ伝送サービス <sup>(注4)</sup>	(千契約)	1,345	1,378	33	119.0%	1,372	28	
NTT東日本	(千契約)	877	887	10	34.4%	907	30	
NTT西日本	(千契約)	468	490	22	-	465	▲ 3	
携帯電話 <sup>(注6)</sup>	(千契約)	66,595	67,532	936	28.3%	69,900	3,305	
(再掲)新料金プラン	(千契約)	17,827	20,812	2,985	-	-	-	
LTE(Xi)	(千契約)	30,744	32,609	1,864	29.8%	37,000	6,256	
FOMA <sup>(注7)</sup>	(千契約)	35,851	34,923	▲ 928	31.5%	32,900	▲ 2,951	
spモード	(千契約)	28,160	29,094	934	25.0%	31,900	3,740	
iモード	(千契約)	22,338	21,512	▲ 826	25.5%	19,100	▲ 3,238	

(注1) 加入電話は、一般加入電話とビル電話を合算しております(加入電話・ライトプランを含む)。

(注2) 「INSネット」には、「INSネット64」及び「INSネット1500」が含まれております。「INSネット1500」は、チャンネル数、伝送速度、回線使用料(基本料)いずれについても「INSネット64」の10倍程度であることから、「INSネット1500」の1契約を「INSネット64」の10倍に換算しております(INSネット64・ライトを含む)。

(注3) 「フレッツ光(コラボ光含む)」は、NTT東日本の「Bフレッツ」、「フレッツ 光ネクスト」、「フレッツ 光ライト」及び「フレッツ 光WiFiアクセス」、NTT西日本の「Bフレッツ」、「フレッツ 光プレミアム」、「フレッツ 光マイタウン」、「フレッツ 光ネクスト」、「フレッツ 光ライト」及び「フレッツ 光WiFiアクセス」、並びにNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)を含めて記載しております。「フレッツ光(コラボ光含む)」の2016年3月期第1四半期末からの増減において、開通数はNTT東日本が397千回線、NTT西日本が413千回線、「コラボ光」の2016年3月期第1四半期末からの増減において、開通数(転用除き)はNTT東日本が75千回線、NTT西日本が39千回線、転用数はNTT東日本が693千回線、NTT西日本が251千回線です。

(注4) 「ひかり電話」、「フレッツ・テレビ伝送サービス」は、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

(注5) 「グループ主要ISP」には、「OCN」、「ぶらら」の他、「WAKWAK」、「InfoSphere」が含まれております。

(注6) 携帯電話(「LTE(Xi)」、「FOMA」を含む)契約数には、通信モジュールサービス契約数を含めて掲載しております。

(注7) 2008年3月3日より、「2in1」を利用する際にはその前提として原則「FOMA」契約を締結することが条件となっており、携帯電話(「FOMA」を含む)契約数にはその場合の当該「FOMA」契約も含まれております。

#### 4. 事業データ (ARPU)

##### 1契約者 (利用者) 当たりの月間平均収入 (ARPU)

1契約者 (利用者) 当たりの月間平均収入 (ARPU) は、契約者 (利用者) 1人当たりの平均的な月間営業収益を算するために使われます。固定通信事業の場合、ARPUは、地域通信事業の営業収益のうち、固定電話 (加入電話及びINSネット) 並びに「フレッツ光」の提供により毎月発生する収入を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。移動通信事業の場合、ARPUは、移動通信事業の営業収益のうち、携帯電話 (「LTE(Xi)」)、携帯電話 (「FOMA」)、及び「ドコモ光」のサービス提供により発生する通信サービス収入 (一部除く) を、当該サービスの稼働利用者数で除して計算されます。これら数字の計算からは、各月の平均的な利用状況を表さない端末機器販売、契約事務手数料、ユニバーサルサービス料などは除いています。こうして得られたARPUは各月のお客様の平均的な利用状況を把握する上で有用な情報を提供するものであると考えております。なお、ARPUの分子に含まれる収入は米国会計基準による連結決算値を構成する財務数値により算定しております。

(単位: 円)

	四半期		通期	
	2015年 3月期 第1四半期 (4~6月) 実績	2016年 3月期 第1四半期 (4~6月) 実績	2015年 3月期 通期実績	2016年 3月期 通期予想
NTT東日本 (注1) (注2) (注3) (注4) (注5)				
固定電話総合 ARPU (加入電話+INSネット)	2,710	2,660	2,700	2,660
フレッツ光 ARPU (注6)	5,460	5,590	5,490	5,430
基本利用料 ARPU	3,690	3,860	3,730	3,770
付加サービス ARPU	1,770	1,730	1,760	1,660
NTT西日本 (注1) (注2) (注3) (注4) (注5)				
固定電話総合 ARPU (加入電話+INSネット)	2,660	2,620	2,650	2,610
フレッツ光 ARPU (注6)	5,750	5,550	5,680	5,330
基本利用料 ARPU	3,940	3,770	3,880	3,610
付加サービス ARPU	1,810	1,780	1,800	1,720
NTTドコモ (注7) (注8) (注9)				
総合 ARPU	4,210	4,010	4,100	4,100
音声 ARPU	1,340	1,120	1,280	1,200
データ ARPU	2,870	2,890	2,820	2,900
パケット ARPU	2,870	2,870	2,820	2,820
ドコモ光 ARPU	-	20	-	80

(注1) NTT東日本及びNTT西日本のARPUは、以下の2種類に分けて計算をしております。

- ・ 音声伝送収入 (IP系除く) に含まれる加入電話とINSネットの基本料、通信・通話料、及びIP系収入に含まれる「フレッツADSL」、「フレッツISDN」からの収入に基づいて計算される固定電話総合ARPU(加入電話+INSネット)。
- ・ IP系収入に含まれる「フレッツ光」、「フレッツ光」のオプションサービスからの収入、「ひかり電話」における基本料・通信料・機器利用料、及び付帯事業営業収益に含まれる「フレッツ光」のオプションサービス収入に基づいて計算されるフレッツ光ARPU。
  - 「フレッツ光」は、NTT東日本の「Bフレッツ」、「フレッツ 光ネクスト」、「フレッツ 光ライト」及び「フレッツ 光WiFiアクセス」、NTT西日本の「Bフレッツ」、「フレッツ・光プレミアム」、「フレッツ・光マイタウン」、「フレッツ 光ネクスト」、「フレッツ 光ライト」及び「フレッツ 光WiFiアクセス」、並びにNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者等に卸提供しているサービス (コラボ光) を含めて記載しております。
  - 「フレッツ光」のオプションサービスは、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者等に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

(注2) 固定電話総合ARPU(加入電話+INSネット)及びフレッツ光ARPUには相互接続通話料が含まれておりません。

(注3) NTT東日本及びNTT西日本におけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 当該期間の各月稼働契約数 (前月末契約数+当月末契約数) /2の合計
- ・ 通期実績=4月~3月までの各月稼働契約数 (前月末契約数+当月末契約数) /2の合計
- ・ 通期予想=平均稼働契約数 (前期末契約数+今期末予想契約数) /2 ×12

(注4) 固定電話総合ARPU(加入電話+INSネット)の算定上の契約数は、固定電話 (加入電話及びINSネット) の契約数であります。

(注5) 固定電話総合ARPU(加入電話+INSネット)の算定上、INSネット1500の契約数は、チャンネル数、伝送速度、回線使用料 (基本料) いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております。

(注6) フレッツ光ARPU算定上の契約数は、「フレッツ光」の契約数 (「フレッツ光」は、NTT東日本の「Bフレッツ」、「フレッツ 光ネクスト」、「フレッツ 光ライト」及び「フレッツ 光WiFiアクセス」、NTT西日本の「Bフレッツ」、「フレッツ・光プレミアム」、「フレッツ・光マイタウン」、「フレッツ 光ネクスト」、「フレッツ 光ライト」及び「フレッツ 光WiFiアクセス」、並びにNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者等に卸提供しているサービス (コラボ光) を含む。) であります。

(注7) NTTドコモのARPUの計算式は、以下のとおりであります。

- ・ 総合ARPU: 音声ARPU+パケットARPU+ドコモ光ARPU
- 音声ARPU: 音声ARPU関連収入 (基本使用料、通話料) /稼働利用者数
- パケットARPU: パケットARPU関連収入 (月額定額料、通信料) /稼働利用者数
- ドコモ光ARPU: ドコモ光ARPU関連収入 (基本使用料、通話料) /稼働利用者数

(注8) NTTドコモにおけるARPU算出時の稼働利用者数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 当該期間の各月稼働利用者数 (前月末利用者数+当月末利用者数) /2の合計
- ・ 通期実績/予想=4月~3月までの各月稼働利用者数 (前月末利用者数+当月末利用者数) /2の合計

(注9) 利用者数は、以下のとおり、契約数を基本としつつ、一定の契約数を除外して算定しています。

- 利用者数 = 契約数
- 通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」、「ドコモビジネストランシーバー」並びに
  - 仮想移動体通信事業者 (MVNO) へ提供する卸電気通信業務及び事業者間接続に係る契約数
  - LTE(Xi)契約及びFOMA契約と同一名義のデータプラン契約数

なお、通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」、「ドコモビジネストランシーバー」並びに仮想移動体通信事業者 (MVNO) へ提供する卸電気通信業務及び事業者間接続に係る収入は、ARPUの算定上、収入に含まれておりません。

(参考) NTTドコモ 従来のARPU

	四半期		通期	
	2015年 3月期 第1四半期 (4~6月) 実績	2016年 3月期 第1四半期 (4~6月) 実績	2015年 3月期 通期実績	2016年 3月期 通期予想
携帯電話総合 ARPU (注10) (注11) (注12)	4,450	4,290	4,370	4,310
音声 ARPU	1,250	1,020	1,180	1,090
パケット ARPU	2,670	2,610	2,600	2,540
スマート ARPU	530	660	590	680

(注10) NTTドコモの従来のARPUの計算式は、以下のとおりであります。

- ・ 携帯電話総合ARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」) = 音声ARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」) + パケットARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」) + スマートARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」)
- 音声ARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」) は、「LTE(Xi)」及び「FOMA」サービスによる音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」) は、「LTE(Xi)」及び「FOMA」サービスによるパケットサービス月額定額料と通信料の収入に基づいており、スマートARPU (「LTE(Xi)」+「FOMA」) は、「LTE(Xi)」及び「FOMA」のその他の営業収入の一部 (コンテンツ関連収入、料金回収代行手数料、端末補償サービス収入、広告収入等) に基づいております。

(注11) 通信モジュールサービス、「電話番号保管」、「メールアドレス保管」、「ドコモビジネストランシーバー」並びに仮想移動体通信事業者 (MVNO) へ提供する卸電気通信業務及び事業者間接続は、NTTドコモの従来のARPUの算定上、収入及び契約数のいずれにも含まれておりません。

(注12) NTTドコモにおける従来のARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 当該期間の各月稼働契約数 (前月末契約数+当月末契約数) /2の合計
- ・ 通期実績/予想=4月~3月までの各月稼働契約数 (前月末契約数+当月末契約数) /2の合計

#### 4. 事業データ（従業員数）

##### 従業員数

	A 2015年3月期 第1四半期末 実績	B 2016年3月期 第1四半期末 実績		C 2016年3月期 期末予想
		対前年増減		
		B-A		
連結従業員数	246,050	247,800	1,750	244,050
会社別従業員数				
NTT持株	2,900	2,850	▲ 50	2,800
NTT東日本	6,050	5,400	▲ 650	4,900
NTT西日本	5,000	4,750	▲ 250	4,500
NTTコミュニケーションズ	7,000	6,600	▲ 400	6,500
NTTドコモ(連結)	26,250	27,050	800	27,000
NTTデータ(連結)	76,450	78,650	2,200	80,350
(参考)OS会社等従業員数				
東OS会社等 <sup>(注1) (注2)</sup>	28,050	27,200	▲ 850	24,850
西OS会社等 <sup>(注3)</sup>	28,950	26,900	▲ 2,050	24,400

(注1) 2015年3月期第1四半期実績における東OS会社等の範囲は、都道県域総合会社（NTT東日本-東京等）、NTT-ME及びNTT東日本ソリューションズとなっております。

(注2) 2014年7月1日より、NTT東日本グループの組織再編に伴い、東OS会社等の範囲を見直しております。この結果、2016年3月期第1四半期末実績及び2016年3月期末予想における東OS会社等の範囲は、地域子会社（NTT東日本-南関東等）、NTT-ME及びNTT東日本サービスとなっております。また、NTT東日本サービスの従業員数には、従来の都道県域総合会社から移行した人員の他、NTTソルコ、NTT北海道テレマート、テルウェル東日本から移行した人員（750名）が含まれております。なお、NTT東日本ソリューションズはNTT東日本-南関東に統合されております。

(注3) 西OS会社等の範囲は、NTTビジネスソリューションズ、NTTマーケティングアクト、NTTネオメイト、NTTフィールドテクノ及びNTTビジネスアソシエ西日本となっております。